



2020年3月6日

インフラファンド発行者名
エネクス・インフラ投資法人
代表者名 執行役員 松塚 啓一
(コード番号 9286)

管理会社名
エネクス・アセットマネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 松塚 啓一
問合せ先 取締役兼財務経理部長 大村 達実
TEL : 03-4233-8330

保有資産に係る月次発電量実績及び出力制御に関するお知らせ (2020年2月)

エネクス・インフラ投資法人(以下「本投資法人」といいます。)が2020年2月末日現在で保有する発電設備の2020年2月の発電量実績及び出力制御につき、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 月次発電量実績 (第3期 2019年12月～2020年11月)

2020年11月期					
	物件数	パネル出力 (kW)	発電量予測値 (kWh) (注1) (A)	発電量実績値 (kWh) (B)	差異 (kWh) (B)-(A)
2019年12月	5	37,628.68	2,690,259	1,998,036	-692,223
2020年1月(注2)	6	40,289.80	3,039,931	2,433,206	-606,725
2020年2月	6	40,289.80	3,444,929	3,394,818	-50,111
2020年3月	—	—	—	—	—
2020年4月	—	—	—	—	—
2020年5月	—	—	—	—	—
2020年6月	—	—	—	—	—
2020年7月	—	—	—	—	—
2020年8月	—	—	—	—	—
2020年9月	—	—	—	—	—
2020年10月	—	—	—	—	—
2020年11月	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—

(注1) 「発電量予測値」とは、超過確率P (パーセンタイル) 50の数値 (50%の確率で達成可能と見込まれる数値を意味します。)としてテクニカルレポートの作成者その他の専門家によって算出された発電電力量をいいます。(以下、「発電量予測値 (P50)」といいます。)

(注2) 長崎琴海物件を2020年1月17日に購入しており、物件数が6物件に増加すると共にパネル出力・発電量予測値及び発電量実績値は長崎琴海物件を含んだ数値となっております。

2. 月次発電所別発電量実績

2020年2月					
物件番号	物件名称	パネル出力(kW)	発電量予測値(kWh)(A)	発電量実績値(kWh)(B)(注3)	差異(kWh)(B)-(A)
S-01	高萩太陽光発電所	11,544.00	1,115,501	1,146,792	31,291
S-02	千代田高原太陽光発電所	1,595.28	109,200	120,288	11,088
S-03	JEN防府太陽光発電所	1,940.64	152,753	164,417	11,664
S-04	JEN玖珠太陽光発電所	1,007.76	77,270	68,022	-9,248
S-05	銚田太陽光発電所	21,541.00	1,783,115	1,702,032	-81,083
S-06	長崎琴海太陽光発電所	2,661.12	207,090	193,267	-13,823
	合計	40,289.80	3,444,929	3,394,818	-50,111

(注3) 「発電量実績値」は電気事業者の検針票データを元に記載しておりますが、防府物件、玖珠物件及び長崎琴海物件については取得可能な発電量データを元に記載しております。

3. 出力制御の実施について

2020年2月は以下の通り、再生可能エネルギー発電設備を対象とした出力制御が実施されました。当該出力制御が本投資法人の運用状況に及ぼす影響について、下記の通りお知らせいたします。

出力制御の対象発電所		稼働停止期間	今期の本投資法人のポートフォリオ全体の売電収入に対する当該出力制御による逸失売電収入の比率(注4)	
			今回出力制御	今期の出力制御累計
S-04	JEN玖珠太陽光発電所	2020年2月11日 8時～16時	0.006%	0.073%
		2020年2月22日 8時～16時	0.006%	
		2020年2月23日 8時～16時	0.006%	
		2020年2月24日 8時～16時	0.006%	
S-06	長崎琴海太陽光発電所	2020年2月11日 8時～16時	0.015%	
		2020年2月22日 8時～16時	0.015%	
		2020年2月24日 8時～16時	0.015%	

出力制御の実施における2020年1月10日付「2019年11月期 決算短信(インフラファンド)」にて公表しました、2020年11月期中間期(2019年12月1日～2020年5月31日)及び2020年11月期通期(2019年12月1日～2020年11月30日)の本投資法人の運用状況の予想への影響は極めて限定的です。

本投資法人は、運用資産をいずれも発電事業者SPCに賃貸し、発電事業者SPCから基本賃料と実績連動賃料を収受する賃貸スキームを採用しており、本投資法人の運用資産が出力制御の対象になり、発電事業者SPCが出力制御により稼働を停止したことによって本来得られる売電収入額が電力会社から収受できない場合でも、運用資産毎に年間想定売電収入の10%相当額を賃料等積立口座に積み立てて基本賃料に対する不足額を補填することとしているため、今回の出力制御においては、本投資法人が発電事業者SPCから収受する基本賃料は減少いたしません。

なお、JEN玖珠太陽光発電所の基本賃料は発電量予測値(P50)×100%の想定売電収入から運営管理費用見込額を控除した額としており、長崎琴海太陽光発電所については、発電量予測値(P50)×90%の想定売電収入から運営管理費用見込額を控除した額の基本賃料に、(P50)×90%から100%までに相当する金額から公租公課を控除した金額の実績連動賃料を加算した額を、運用状況の予想の前提条件となる賃貸事業収益としております。

(注4) 小数点第4位を四捨五入した数値を記載しています。

以上

※本投資法人のホームページアドレス：<https://enexinfra.com/>